

大阪市・上海市友好都市提携50周年記念
Commemorating the 50th Anniversary of Shanghai-Osaka Sister City Partnership
Special Exhibition

Resonating Treasures of Chinese Ceramics

Shanghai Museum × The Museum of Oriental Ceramics, Osaka

2024 **10.19** (土) — 2025 **3.30** (日)

上海×大阪、至極のコレクションが出会う。

上海博物館 × 大阪市立東洋陶磁美術館

特別展
中国陶磁・至宝の競艶



休館日：月曜日、11月5日(火)、1月14日(火)、2月25日(火)、
年末年始(12月28日(土)～1月4日(土))
※11月4日(月)、1月13日(日)、2月24日(月)は開館
開館時間：午前9時30分～午後5時(入館は午後4時30分まで)
※12月20日(金)、21日(土)は午後7時まで(入館は午後6時30分まで)
入館料：一般1,800円(600円)、高校生・大学生800円(400円)
※(一)内は20名以上の団体料金
※(二)中学生以下、胸がけいし手帳などをもちの方向者1名をき、大阪市内在住の65歳以上の方向証明は無料
※右記の料金で館内の展示すべてをご覧いただけます。
主催：大阪市立東洋陶磁美術館、上海博物館
共催：NHKエンタープライズ近畿
後援：中華人民共和国駐大阪総領事館、上海市政府新聞弁公室、NHK大阪放送局
協力：株式会社YAMAGIWA、株式会社コードー

大阪市立
東洋陶磁
美術館

THE MUSEUM OF
ORIENTAL CERAMICS,
OSAKA

上海博物館
Shanghai Museum

緑地粉彩八吉祥文瓶(りよじふんさいはちきつしょうもんべい)
清時代・乾隆(1736-1795) 景徳鎮窯 上海博物館

中国陶磁がつなぐ 上海 × 大阪

2024年、大阪市と上海市の友好都市提携50周年を記念し、上海博物館から日本初公開作品22件(うち海外初公開19件)を含む計50件の中国陶磁の名品が出品されます。中国陶磁の世界的な殿堂である上海博物館と大阪市立東洋陶磁美術館の至極のコレクションが一堂に会し、「競艶(きょうえん)」することで、悠久の歴史を誇る中国陶磁の真髄に触れるとともに、現在においても斬新さや新たな美の発見をもたらすその魅力に迫る機会となれば幸いです。

Commemorating the 50th Anniversary of Shanghai-Osaka Sister City Partnership

● 関連プログラム

1. 記念講演会

「灼爇重現(しゃくしゃくちょうげん)―明正統、景泰、天順期の景德鎮磁器」
彭涛氏(上海博物館陶瓷部研究員)
2024年10月19日(土) 午後2時～4時(参加費:1,000円)

2. 記念講座

- 「至宝競艶―上海博物館×大阪市立東洋陶磁美術館」
2024年11月2日(土) 午後2時～3時(参加費:500円)
- 「新収蔵の乾隆帝筆《松霞室》について」
2024年12月7日(土) 午後2時～3時(参加費:500円)
- 「国宝《油滴天目茶碗》の世界」
2025年2月8日(土) 午後2時～3時(参加費:500円)

いずれも講師:小林仁(大阪市立東洋陶磁美術館 学芸課長代理)

会場:大阪市立東洋陶磁美術館 地下講堂

※事前申込制・先着順(定員45名)

※約1カ月前から詳細情報が公開されます。

当館ホームページのチケット購入画面からお申し込みください。

※参加には別途入館料が必要です。



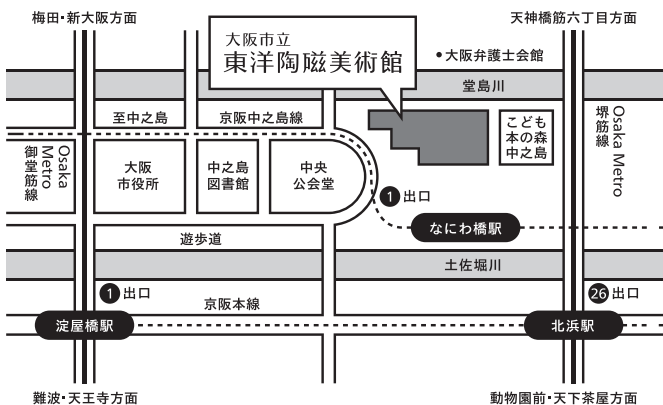
● 同時開催

特別展示

1. 国宝「油滴天目茶碗」(展示ロビー1)
2. 乾隆帝筆《松霞室》(展示ロビー1) ※10月19日(土)～12月27日(金)
3. 「青花虎鵠文壺」(展示ロビー2)

コレクション展示

- 「翡色幽玄―安宅コレクション韓国陶磁」(展示2)
- 「粉青尚白―安宅コレクション韓国陶磁」(展示3)
- 「清廉美白―安宅コレクション韓国陶磁」(展示4)
- 「優艶質朴―李秉昌コレクション韓国陶磁」(展示5)
- 「陶魂無比―日本陶磁コレクション」(展示6)
- 「喜土愛楽―現代陶芸コレクション」(展示8)
- 「百鼻繚乱―沖正一郎コレクション鼻煙壺」(展示12)
- 「泥土不滅―現代陶芸コレクション」(展示13)



大阪市立 東洋陶磁美術館

THE MUSEUM OF ORIENTAL CERAMICS, OSAKA

〒530-0005 大阪市北区中之島1-1-26

TEL 06-6223-0055(代表) <https://www.moco.or.jp>

[アクセス]

- 京阪中之島線「なにわ橋」駅下車すぐ
- Osaka Metro 御堂筋線・京阪本線「淀屋橋」駅から約400m
- Osaka Metro 堺筋線・京阪本線「北浜」駅から約400m



Resonating Treasures of Chinese Ceramics

Shanghai Museum × The Museum of Oriental Ceramics, Osaka



明正統官窯
最大級のドラゴンジャー

1

窯変による
奇跡のアップルグリーン



2

空自期に現れた
波濤の中の紅い瑞獣



3



最高峰の青磁、
「天青」汝窯の競艶

4



5



明洪武官窯、奇跡の再会

7



6

1. 【海外初公開】青花雲龍文壺(せいかうんりゅうもんづぼ) 明時代・正統(1436-1449) / 景德鎮窯 上海博物館 2. 【海外初公開(一級文物)】蘋果綠袖印盒(ひんかりやくゆういんごう) 清時代・康熙(1662-1722) / 景德鎮窯 上海博物館(胡惠春・王華雲夫妻御遺族寄贈・暫得標戻) 3. 【海外初公開(一級文物)】青花紅彩波濤瑞獸文碗(せいこうさいいはとうずいじゅうもんわん) 明時代・正統~天順(1436-1464) / 景德鎮窯 上海博物館 4. 【一級文物】青磁盤(せいじばん) 北宋時代(960-1127) / 汝窯 上海博物館 5. 青磁水仙盆(せいじすいせんぼん) 北宋時代・11世紀末-12世紀初 / 汝窯 大阪市立東洋陶磁美術館(住友グループ寄贈 / 安宅コレクション) 写真:六田知弘 6. 青花雲龍文梅瓶(「春壽」銘)(せいかうんりゅうもんめいびん)【「しゅんじゅ」めい】 明時代・洪武(1368-1398) / 景德鎮窯 上海博物館 7. 青花雲龍文梅瓶(「春壽」銘)(せいかうんりゅうもんめいびん) 明時代・洪武(1368-1398) / 景德鎮窯 大阪市立東洋陶磁美術館(東畑謙三氏寄贈) 写真:六田知弘